DJ-PX5 セットモードについて

DJ-PX5 特定小電力トランシーバーは用途に合わせて、正しくより使いやすくするためにカスタマイズすることができます。ここでは取扱説明書でご説明しきれていない設定スイッチの内容についてご説明します。

[設定スイッチ]

セットモードを設定するには本体裏面のゴムキャップを取り外してスイッチを操作してください。スイッチの切り替えには先端が鋭利ではないものをお使いください。設定完了後はゴムキャップを元通りに取り付けてください。（主電源の10番スイッチはONにします）

[セットモード項目]

1：交互通信/中継通話

設定値 交互通信/中継通話（初期値 交互通話）

設定スイッチ1番をONにすると中継通話用のチャンネルになります。

チャンネルは取扱説明書を参照してキー操作で選択します。

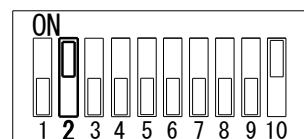
設定スイッチステータス

中継通話には別途中継器が必要です。中継器の周波数方向はB（440MHz受信／421MHz送信）に設定してください。

中継器を使用すると通話エリアが広がります。

2：グループトーク

設定値 ON/OFF（初期値 OFF）

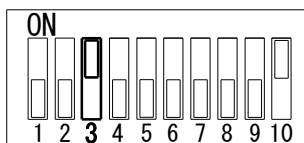
設定スイッチ2番をONにするとグループトークができます。

設定スイッチステータス

グループトークを設定することで、同じグループ番号に設定されているトランシーバーとだけ通話することができます。

グループ番号は取扱説明書を参照してキー操作で選択します。

3：PTTホールド（送信保持）

設定値 ON/OFF（初期値 OFF）

設定スイッチ3番をONにするとPTTホールド（送信保持）設定がONになります。

設定スイッチステータス

PTTキーを1度押すと送信状態を継続し、もう1度押すと待ち受け状態になります。

この機能を使用すると送信中にPTTキーを押し続ける必要がなくなります。

4：VOX（音声検出送信）

設定値 ON/OFF（初期値 OFF）

設定スイッチ 4 番を ON にすると VOX（音声検出送信）設定が ON になります。

設定スイッチステータス

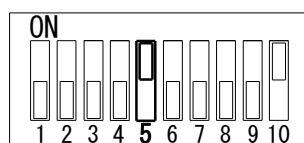
PTT キーを押さなくても自動的に送受信を切り替えることができる機能です。マイクに音声が入れば送信、音声がなくなれば待ち受け状態になります。

注）・音声以外で送信してしまうような周囲の騒音が大きな場所では VOX 機能を使用することはできません

・VOX 機能を使用すると音声入力から送信開始までに若干の遅延が起こるため、音声の初めが途切れる場合があります。「了解です、～」や「はい、～」など、要件を話す前に途切れても支障がないような言葉を挟んで話し始めると通話しやすくなります。

5：ビープ音＋音声ガイダンス

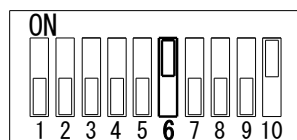
設定値 ON/OFF（初期値 ON）

設定スイッチ 5 番を ON にすると本体から鳴るビープ音（操作音）と音声ガイダンスが OFF になり鳴らなくなります。

設定スイッチステータス

チャンネルやグループ番号、減電池お知らせなどのすべての音声ガイダンスが鳴らなくなりますのでご注意ください。

6：コンパンダー（雑音低減）

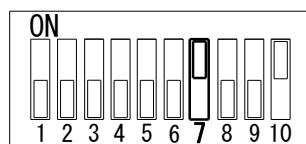
設定値 ON/OFF（初期値 OFF）

設定スイッチ 6 番を ON にするとコンパンダー（雑音低減）設定が ON になります。

設定スイッチステータス

コンパンダー（雑音低減）を設定すると通話中に聞こえる「サー」というかすかなバックノイズを低減することができます。<u>但しコンパンダー機能のないトランシーバーと通話する場合には必ず OFF にしてください。かえって音質が悪くなることがあります。</u>

7：エンドピー（送信終了音）

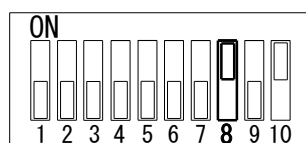
設定値 ON/OFF（初期値 OFF）

設定スイッチ 7 番を ON にするとエンドピー（送信終了音）設定が ON になります。

設定スイッチステータス

PTT キーを離したときに「ピッ」と鳴って通話相手に送信が終わったことを伝える機能です。

8：コールバック（音声モニター）

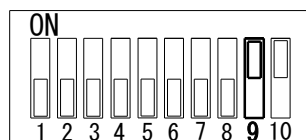
設定値 ON/OFF（初期値 OFF）

設定スイッチ 8 番を ON にするとコールバック（音声モニター）設定が ON になります。

設定スイッチステータス

コールバック（音声モニター）機能を ON に設定すると、送信中にイヤホンから自分の声が聞こえ話しやすくなります。

9:マイク選択

設定値 マイク 1/マイク 2（初期値 マイク 1）

設定スイッチ 9 番を ON にするとマイク 2 が選択されます。

設定スイッチステータス

トランシーバーの取り付け方向に応じてマイクを選択してください。

アンテナを下向きにするときはマイク 1（初期値）を、上向きにするときはマイク 2 を選択します。

以上

アルインコ(株)電子事業部

DJ-PX5 拡張セットモードについて

DJ-PX5 特定小電力トランシーバーには、普段の使用にはあまり必要が無くても特定の環境やニーズによってカスタマイズすると便利な機能を拡張セットモードに持たせています。通常の設定項目にしなければならないほどには頻繁に使用しない上、意味を理解してご使用頂かないと、一部の機能が使えなくなるなど「故障かな？」と思うような動作をしたりする可能性があるため、製品に付属の取扱説明書には記載しておりません。

拡張機能をよくご理解の上で必要に応じて操作して頂きたいため、拡張設定方法は本書の最後に記載しています。

[拡張セットモード項目]

１）

1:イヤホン断線検知

設定値 ON/OFF（初期値 ON）

本体に取り付けられているイヤホンの断線を検知する機能です。初期状態ではイヤホン断線検知が ON に設定されておりイヤホンが断線していると電源を入れた直後にランプが赤色と緑色に交互点滅します。入力インピーダンスが高い機器を接続する場合などは OFF に設定することで断線検知を停止することができます。

2：AGC 設定

設定値 ON/OFF（初期値 ON）

マイクに大きな音声が入った場合、通話音声が歪むことがあります。初期状態ではマイク AGC 設定を ON にして歪みを抑えています。
機種間の相性問題を解決できることがありますが、不用意に設定を変更するとかえって音質が悪化することがあります。（通常は ON のままご使用になることをお勧めします）

3：トーンマージン設定

設定値 SP（ON）/NOL（OFF）（初期値 NOL（OFF））

グループトークでのトーン信号の受信精度を調整することができます。従来製品との通話においてグループトークで受信音声が途切れる場合、この設定を「SP（ON）」に変更することで受信しやすくなります。但し「SP（ON）」に変更すると近いグループ番号のトーン信号を誤検知する場合があります。
例）グループ 1 番に設定しているが、グループ 2 番に反応してしまう。
また受信終了時に「ザッ」音が聞こえます。
このためグループトークの動作が不安定と感じたらこの設定を変更する前に別のグループ番号に変更して通話テストすることをお勧めします。

4：PTT オン/オフ機能（受信専用切り替え）

設定値 ON/OFF（初期値 ON）

送信を禁止し受信専用にする機能です。OFF に設定すると[PTT キー]を押しても送信できなくなります。ユーザーグループの中に「連絡を聞くだけで返事はしなくてよい」というメンバーがいるときに使います。
受信専用の無線機は「受令機」と呼ばれています。

２）

マイク音量（感度）調整

設定値 1～7（初期値 4）

通話時の癖やマイクから口元までの距離により人によって無線機に入る音量は異なります。このため音が小さい（声が小さい＝レベルを大きくする）、音が歪む（声が大きい＝レベルを小さくする）などの場合に調整できるようになっています。設定を間違うと声が小さくなったり歪んだりしますのでご注意ください。
数値が大きいほど感度が高くなり通話相手から聞こえる音量が大きくなります。

［拡張設定方法］

１）

設定項目	設定範囲	初期値	コマンド
1：イヤホン断線検知	ON/OFF	ON	[▽]→[▽]→[▽]
2：AGC 設定	ON/OFF	ON	[PW]→[PW]→[▽]
3：トーンマージン設定	SP（ON）	NOL（OFF）	[△]→[△]→[△]
4：PTT オン/オフ機能	ON/OFF	ON	[PW]→[PW]→[△]

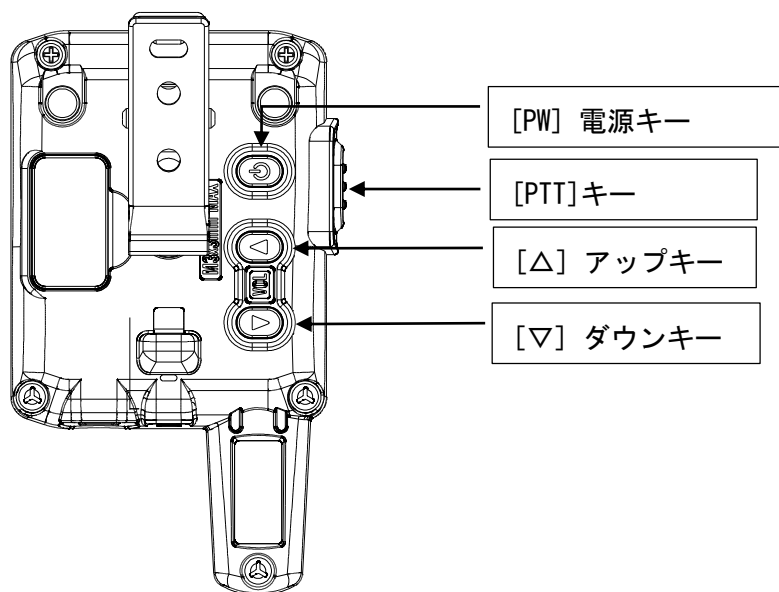
①電源を切った状態から PTT キーを押しながら電源を入れます。
　→青色点灯したらキーを離します。「ピピピピピ音」が鳴り拡張設定モードに入ります。
②10 秒以内に変更したい項目のコマンド欄にあるキーを順番に押します。3 つめのキーを押した時点で設定が切り替わります。（キー配置は次ページのイラストをご参照ください）
　→「項目番号と、ON または OFF」が鳴ります。
　例）イヤホン断線検知を OFF に設定した場合は「1 番_OFF」が鳴ります。
　例）トーンマージンを SP（ON）に設定した場合は「3 番_ON」が鳴ります。
③電源を入れ直すと設定が有効になります。（起動時に紫色点灯→青色点灯します）
④設定を ON→OFF に、あるいは OFF→ON に戻す場合は電源を切り①～③の手順で操作を繰り返します。同じ操作する度に ON/OFF 設定が切り替わります。

※続けて複数の項目は設定できません。他の項目を設定するときは電源を切って①～④の手順で操作を繰り返してください。

２）

設定項目	設定範囲	初期値	コマンド
マイク音量（感度）調整	1～7	4	[PW]→[PW]→[PW]

①電源を切った状態から PTT キーを押しながら電源を入れます。
　→青色点灯したらキーを離します。「ピピピピピ音」が鳴り調整モードになります。
②10 秒以内にコマンド欄にあるキー[PW]→[PW]→[PW]　を押します。
　→「マイク音量を選択してください」が鳴り水色点灯します。
③△／▽キーを押してマイク音量を 1～7 の範囲から選択します。
　→「音量＊」が鳴ります。（＊は 1～7 の選択した値）
　数値が大きいほど感度が高くなり通話相手から聞こえる音量が大きくなります。
④PTT キーを押して設定を完了します。水色点灯から青色点灯に変わり通常の送受信がおこなえます。

[キー配置]

[ランプ表示]

拡張設定のいずれかの項目がカスタマイズされていると電源起動後に 3 秒間紫色点灯したあと青色点灯に変わります。

[拡張設定のリセット]

拡張設定内容がわからなくなったときはリセットしてください。
電源を切った状態で、電源キーと PTT キーを同時に 10 秒間押し続けると拡張設定のみが初期化されます。
初期化中は黄色点滅し、そのあと青色点灯に変わります。

以上

アルインコ(株)電子事業部